

## ■著作権について

本レポートと表記は、著作権法で保護されている著作物です。本レポートの著作権は発行者にあります。本レポートの使用に関しましては、下記の点にご注意ください。

## ■使用許諾契約書

本契約は、本レポートを入手した個人・法人（以下、甲と称す）と発行者（以下、乙と称す）との間で合意した契約です。本レポートを甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

### 第 1 条本契約の目的：

乙が著作権を有する本レポートに含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

### 第 2 条禁止事項：

本レポートに含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本レポートから得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本レポートに含まれる情報を使用できるものとします。

### 第 3 条損害賠償：

甲が本契約の第 2 条に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金が発生する場合がございますのでご注意ください。

### 第 4 条契約の解除：

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することが出来るものとします。

### 第 5 条責任の範囲：

本レポートの情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても一切の責任を負いません。

## ■目次

### はじめに

0-1 仮想通貨投資を難しいと思っていないですか？

### 第1章

- 1-1 仮想通貨とは？
- 1-2 仮想通貨と電子マネーの違い
- 1-3 送金/譲渡できる
- 1-4 いつでも換金できる
- 1-5 価格が変動する
- 1-6 管理者がない
- 1-7 国境がない
- 1-8 ブロックチェーンが使われている
- 1-9 仮想通貨とブロックチェーンの違い
- 1-10 この章のまとめ

### 第2章

- 2-1 仮想通貨の代表！ビットコインの基礎知識
- 2-2 ビットコインとは？
- 2-3 ビットコインの特徴 ①：発行上限
- 2-4 ビットコインの特徴 ②：PoW( Proof of Work / プルーフ・オブ・ワーク)
- 2-5 ビットコインの歴史
- 2-6 ビットコインの価格が上がる4つの理由
- 2-7 4年ごとに半減期がある
- 2-8 発行上限が少ない
- 2-9 機関投資家の参入/上場企業の購入
- 2-10 法定通貨化
- 2-11 この章のまとめ

### 第3章

- 3-1 ビットコインだけじゃない！ 代表的なアルトコインの種類
- 3-2 ETH（イーサ）
- 3-3 USDT（テザー）
- 3-4 SOL（ソル）
- 3-5 XRP（リップル）
- 3-6 仮想通貨は何種類あるの？
- 3-7 この章のまとめ

#### **第4章**

- 4-1 仮想通貨を買うにはどうすれば良いの？
- 4-2 仮想通貨取引所の選び方
- 4-3 ビットコインの購入方法
- 4-4 取引の際に初心者が気を付けるべきこと
- 4-5 販売所ではなく取引所を使う
- 4-6 レバレッジ取引ではなく現物取引にする
- 4-7 スマホ1つで取引できるのか
- 4-8 この章のまとめ

#### **第5章**

- 5-1 どんな戦略で投資すれば良い？ 仮想通貨における投資の基礎
- 5-2 仮想通貨投資における3つの原則
- 5-3 仮想通貨の購入で決める3つのこと
- 5-4 仮想通貨でおすすめの投資方法
- 5-5 この章のまとめ

#### **第6章**

- 6-1 盗難時に資金補填できる取引所を使う
- 6-2 セキュリティ対策をしっかりおこなう
- 6-3 価格変動（ボラティリティ）
- 6-4 税金
- 6-5 この章のまとめ

## 第7章

### 7-1 最後に

#### 0-1 仮想通貨投資を難しいと思っていないですか？



はじめまして、杉浦和久と申します。

2017年より仮想通貨投資を始めました。

突然質問ですが、あなたは、老後が不安ではありませんか？

老後が不安で、資産を増やすために仮想通貨投資を始めようと思ったけど、なんだか難しくてあきらめていませんか？

仮想通貨ってよく聞くけど、どこか難しい感じがするし、投資するのは難しそうですね。でも実は、仮想通貨の投資を始めるのは、本当に簡単です。しっかり勉強して正しい振る舞いをすれば、仮想通貨投資は、資産形成の味方になります。

本レポートを勉強することで、完全初心者でも大きな失敗をせずに仮想通貨投

資を始めるための知識が身につきます

仮想通貨は、テクノロジーがベースになっているのでしっかり理解しようとすると IT の知識が必要です。

しかし、本レポートでは、噛み砕いてわかりやすく解説することで、たとえ仮想通貨超初心でも3時間で入門できるように作成しました。

ぜひ本レポートを最後まで読んでいただき資産を形成するために仮想通貨を始めてもらえたらと思います

## 1-1 仮想通貨とは？

まず、仮想通貨投資を始める前に、そもそも仮想通貨とは何かを理解していきます。投資の神様ウォーレンバフェット氏は、投資先は自分が理解できるビジネスに限ると述べています。

これは言い換えると自分が詳しくないモノには投資をしないという意味です。だからいきなり投資を始めようとするのではなく、まずは仮想通貨の知識について学んでいきましょう。

仮想通貨とは、インターネット上でやり取りされるお金です。

2020年5月の法改正で、仮想通貨の正式名称が暗号資産になりました。

英語ではクリプトカレンシーと表記されるので暗号通貨とも呼ばれます。

インターネットだけで完結するお金なので仮想通貨には100円玉や1000円札のように硬貨や紙幣がありません。イメージとしましては、電子マネーに近いです。仮想通貨の支払いに対応しているショップであれば電子マネーと同様に商品を購入できます。それだけでなく専用のウォレットを作成することで銀行振込のように仮想通貨を送ったり受け取ったりできます。

## 1-2 仮想通貨と電子マネーの違い

電子マネーでも仮想通貨と同じくインターネット上でやりとりされるお金です。

しかし、仮想通貨と電子マネーは、以下の6つの点で違いがあります。

### 1. 送金/譲渡できる

2. いつでも換金できる
3. 価格が変動する
4. 管理者がない
5. 国境がない
6. ブロックチェーンが使われている

ここでは仮想通貨と電子マネーの違いを詳しく見ていきます。

### 1-3 送金/譲渡できる

電子マネーは、チャージした日本円を誰かに送金したり譲渡したりできません。しかし、仮想通貨であれば、相手が世界中のどこにいたとしても短時間で安く送金できます。

普通、銀行経由で海外送金すると着金までに数日かかるし手数料も割高です。しかし、仮想通貨であれば早くて 10 分、手数料は銀行経由よりも格安で送金できてしまいます。

### 1-4 いつでも換金できる

Suica などの電子マネーは、チャージすると現金に戻せません。

コンビニで商品を買って返金してもらえば現金化できるみたいですが、それは例外中の例外です。しかし、仮想通貨はいつでも換金できます。

### 1-5 価格が変動する

電子マネーは、1,000 円をチャージしたら当たり前ですが、1,000 円分しか買い物できません。しかし、仮想通貨は価格が変動します。

もし 10 万円で買った仮想通貨が 20 万円になれば儲けの 10 万円分で、お得に買い物ができます。もちろん投資した 10 万円が 5 万円になる可能性もあります。

### 1-6 管理者がない

電子マネーは Suica であれば JR 東日本が paypay であれば paypay 株式会社 が管理運営をしています。

しかし、ビットコインのような仮想通貨は特定の個人や企業によって管理され

ていません。では誰が管理してるのかと言うと、それは 15,000 を超える世界中のコンピューターです。ちなみに、ビットコインを管理しているコンピューターをノードと言います。ビットコインは、世界中に点在する各ノードによってシステムの運営や通貨の新規発行が行われています。

Suica や paypay のように企業がデータを管理しているとシステムにトラブルがあった時、顧客情報が消えたり、しばらくの間、サービスが停止したりします。その反面ビットコインを含む仮想通貨は複数のノードによって運営されているので、たとえ 1 台のコンピューターでトラブルが発生しても問題なく運営され続けます。

## 1-7 国境がない

電子マネーは、あくまで法定通貨の代わりです。

つまり通貨単位は、日本円なら円になるので日本でしか使えません。

一方で仮想通貨は、インターネット上でやりとりされるお金なので、特定の国に依存しない世界共通の通貨です。

Suica や paypay は、国内でしか使えませんが仮想通貨は世界共通の通貨なので、日本以外でもそのまま使用できます。

## 1-8 ブロックチェーンが使われている

電子マネーは、サービスを提供する企業がデータベースで顧客の利用履歴を管理しています。一方、仮想通貨は、過去の取引データをすべてブロックチェーンで保存しています。そしてブロックチェーンで保存されている取引は誰でも自由にアクセスできます。

一見すると取引を閲覧できるのは問題のように思えますが、ブロックチェーンでは、企業のように個人情報を取扱いません。

ですからアドレスからアドレスに仮想通貨が送られたことは分かるが、それぞれのアドレスの持ち主が誰なのかわからないです。

企業の不手際で個人情報を流出される心配もないため、仮想通貨は電子マネーよりもむしろ安全だと言えます。

## 1-9 仮想通貨とブロックチェーンの違い

仮想通貨とブロックチェーンは、全くの別物です。

ブロックチェーンは、あくまで仮想通貨の取引履歴を管理するテクノロジーで一部例外もありますが、ほとんどの仮想通貨ではブロックチェーンで取引を管理しています。

ブロックチェーンについて簡単に特徴を述べておくと、

1. ブロックチェーンは、仮想通貨の取引履歴を管理する技術
2. 取引履歴は、世界中のコンピューターノードによって管理されている
3. ブロックチェーンの取引履歴を改ざんすることはほぼできない
4. 一部のコンピューターで不正や故障があっても問題なく稼働し続ける

以上がブロックチェーンの特徴です。

一言で言えば、ブロックチェーンは、仮想通貨の取引履歴を安全に管理するための技術であると言えます。

## 1-10 この章のまとめ

この章では、仮想通貨の基礎について電子マネーと比較しながら紹介しました。なんとなく仮想通貨がどんなものなのかイメージが湧いてきたのではないのでしょうか？

ブロックチェーンの技術は、IT の知識がないと理解するのが難しいので、今は簡単な特徴を知っておくだけで十分です。

- ・仮想通貨（暗号資産）は、インターネット上でやりとりされるお金
- ・仮想通貨は、電子マネーと違い特定の管理者が存在しない
- ・電子マネーの顧客情報は、データベースで管理されている
- ・仮想通貨の取引履歴は、ブロックチェーンで管理されている
- ・ブロックチェーンは、仮想通貨の取引履歴を補完する技術

まずは、これら仮想通貨の基本をおさえておきましょう。

## 2-1 仮想通貨の代表！ビットコインの基礎知識

この章では、仮想通貨の代表、ビットコインについて紹介します。



仮想通貨投資を始める多くの人は、まず初めに、ビットコインを購入します。それは仮想通貨の中で最もリスクが低いからです。私が初めて購入した仮想通貨もビットコインでした。

だから早速ビットコインを買ってみましょうと言いたいところですが、ビットコインについて何も知らないで投資するのはさすがにリスクが高く危険です。

そこで仮想通貨界の義務教育ともいえるビットコインの基礎知識について紹介していきます。

## 2-2 ビットコインとは？

ビットコインは、数ある仮想通貨のうちのひとつです。

日本株で言えば、トヨタ自動車や三菱 UFJ 銀行などの個別銘柄と同じです。仮想通貨にも時価総額ランキングがありビットコインは 1 位にランキングしています。だからビットコインは、仮想通貨界のトヨタ自動車と考えるとわかりやすいかもしれません。

そんなビットコインは、仮想通貨の一つなので以下の特徴を持っています。

1. 送金/譲渡ができる
2. いつでも換金できる
3. 価格が変動する
4. 管理者がない
5. 国境がない
6. ブロックチェーンが使われている

ビットコインを使えば相手がアメリカにいようとタイにいようと送金ができるし、世界中のどこでも決済手段として使えます。

そしてこれらの送金や購入の取引履歴はブロックチェーンで管理されています。

## 2-3 ビットコインの特徴①：発行上限

ビットコインには、発行枚数の上限が 2100 万枚であるという特徴があります。無限に発行されるわけではないのでビットコインには希少性があります。

さらにブロックチェーンによって管理されているので偽造がほぼ不可能ですし、インターネット上のお金ですから劣化しません。

そのためビットコインは、デジタルゴールドと呼ばれています

ちなみに本レポートを作成している 2023 年 12 月では発行上限の約 90%に相当する約 1900 万枚がすでに発行されています。

残りおよそ約 10%しかないのかと感じるかもしれませんがすべてのビットコインが発行されるのは 2141 年の予定です。

## 2-4 ビットコインの特徴②PoW( Proof of Work / プルーフ・オブ・ワーク)

現時点で約 90%のビットコインは発行済で、残り約 200 万枚のビットコインがあります。

**では、残り約 200 万枚のビットコインはどうやって発行されるのでしょうか？**

それはビットコインのネットワークに参加するノードに報酬を払う時に新規発行されます。と言ってもノード運営するだけでは、ビットコインがもらえるわけではありません。報酬としてビットコインを貰うには難しい計算を成功させて複数の取引がまとめられた一つのブロックを承認する必要があります。

この複雑な計算による承認作業をマイニングと言います。

新しく発行されるビットコインを貰うには他の人よりも早く計算処理を行ってマイニングのレースに勝たないといけません。

もしマイニングレースに勝てると 6.25 BTC を現在報酬としてもらえます。

1BTC 約 200 万円であれば約 1250 万の報酬です

そのためビットコインのノード運営者は数億円する高スペックなマシンを準備してマイニングのレースに参加しています。私たちのような個人が戦える相手ではありません。ちなみにマイニングによって承認されたブロックは一つの鎖状に連結されています。

実はこれがブロックチェーンの正体です。

ビットコインが採用するマイニングによってブロックチェーンをつなげる方法を**プルーフ・オブ・ワーク (Pow)** と言います

## 2-5 ビットコインの歴史

ビットコインは、最初に誕生した仮想通貨で**サトシ・ナカモト**によって発明されました。

サトシ・ナカモトは、日本人男性のような名前ですが国籍や性別そもそも個人か団体なのかも分かっていない謎の人物です。

2008年11月にサトシ・ナカモトが Bitcoin の論文を発表し約3ヶ月後の2009年1月にビットコインが誕生しました。

ビットコインの誕生初期は IT に詳しい人達で盛り上がっているゲーム中のコインのような扱いで、今のように価値を持っていませんでした。

ところが2010年5月22日に1万枚のビットコインでピザを2枚買うという取引が成立しました。

もしピザの値段が2枚で20ドルだったら、その時点で1万枚のビットコインは20ドルの価値を持つこととなります。

以上がビットコインの誕生から金銭的な価値を持つまでの歴史です。

以後ビットコインの価格は右肩上がりに成長しています。

ちなみに今の価格ですと1万BTCは約200億円ですピザ屋が何件も立てられる金額です。

## 2-6 ビットコインの価格が上がる4つの理由

ここまでビットコインの特徴や歴史を紹介しましたが、おそらくあなたが一番気になるのは結局ビットコインの価格は今後どうなるのかと思います。

先に結論から言うと未来のことは誰にも分かりません・・・

もし絶対に値上がりするとわかっていたら、借金をしてでも大量にビットコインを購入するでしょう。

という事実を踏まえた上で、私の個人的な意見では、**ビットコインの価格は間違いなく上がると思っています。**

そう考える理由は次の四つです。

1. 四年ごとの半減期がある
2. 発行上限が少ない
3. 機関投資家の参入、上場企業の購入

## 4. 法定通貨化

このような理由で、今後もビットコインは上がると思っています。

### 2-7 4年ごとに半減期がある

先ほどビットコインは、発行上限の約90%に相当する1900万枚がすでに発行されていて、残りの約200万枚を発行するには2141年までかかるとお伝えしました。でも、これをよく考えるとおかしいと思いませんか？

約90%のビットコインは約13年間で発行したのに、残りの約10%は100年以上かかるといわけです。

実はビットコインの新規発行数量には、オリンピックイヤーの4年ごとに半減期があります。半減期は、4年ごとにマイニングでもらえるビットコインの報酬が半分になることです。

2012年以前の報酬は50BTCでした。

2012年の1回目の半減期で、報酬が50BTCから25BTCへ半分になりました。そして、2016年の2回目の半減期で25BTCから12.5BTCに半分になり、2020年の3回目で6.25BTCになりました。

現在の報酬は6.25BTCですが、2024年の半減期で3.125BTCになります。

- ・ 2012年 (1回目) : 50.0 BTC ⇒ 25.0 BTC
- ・ 2016年 (2回目) : 25.0 BTC ⇒ 12.5 BTC
- ・ 2020年 (3回目) : 12.5 BTC ⇒ 6.25 BTC
- ・ 2024年 (4回目) : 6.25 BTC ⇒ 3.125 BTC

このような事から、残りの200万枚を発行するには100年以上の年月が必要になるわけです。もし、ビットコインへの需要は変わらず発行枚数が半減して供給だけが減るとそれは価格の高騰につながります。

### 2-8 発行上限が少ない

他の仮想通貨と比較するとビットコインは圧倒的に発行上限が少ないです。

**BTC (ビットコイン) : 2100 万枚**

**XRP (リップル) : 1000 億枚**

**ADA (エイダ) : 450 億枚**

**SOLANA (ソラナ) : 4.89 億枚**

になります。

発行上限が少ないということはそれだけ供給も減ることになるのでビットコイン価格は上がりやすい傾向にあります。

## 2-9 機関投資家の参入/上場企業の購入

ビットコインを含む仮想通貨は、私たちのような個人がギャンブルで投資するものだと思われがちです。特に日本では仮想通貨=危険と感じる人が多いです。しかし海外では既にギャンブルで投資するものではなく機関投資家や上場企業が参入しています。

アメリカの仮想通貨取引所コインベースグローバルが 2021 年に扱った機関投資家と個人投資家の取引額がこちらになります。

- ・機関投資家 : 一兆 1,000 億ドル
- ・個人投資家 : 5,356 億ドル

になります。

実は海外ですと個人より機関投資家の方が仮想通貨を多く取り扱っています。またマイクロ・ストラテジーやテスラ、日本ではネクソンなどの上場企業もビットコインを購入しています。

仮想通貨市場の成長に合わせてこの流れは今後も続くことが予想されます。

## 2-10 法定通貨化

2021 年 9 月に世界で初めてエルサルバドルという国が法定通貨にビットコインを採用しました。エルサルバドルは、貧困層が多く国民の約 7 割が銀行口座にアクセスできないと言われています。

海外で出稼ぎしている国民が多く家族に海外送金する時は高額な手数料が発生します。しかし、ビットコインであれば国際送金のような高額な手数料を払わなくて済みます。そもそも銀行口座を持つ必要すらありません。

このように、ビットコインを含む仮想通貨は銀行口座を持ってない人々の手助

けにもなります。エルサルバドルと似たような境遇にある他の国も法定通貨にビットコインを採用するかもしれません。

そうなると供給は、2100万枚で変わらないけれど、需要だけが拡大することになるのでビットコインの価格が上がる可能性は高いです。

## 2-11 この章のまとめ

ビットコインの特徴や歴史、それだけでなく価格が上がると予想される理由を紹介しました。

マイニングの話は少し難しいかもしれませんが、今は完璧に理解しなくても大丈夫です。なんとなくビットコインの特徴が掴めたらよしとしましょう。

- ・ビットコインは、サトシ・ナカモトによって発明された仮想通貨
- ・ビットコインの発行枚数は2100万枚の上限がある
- ・難しい計算を行ってブロックを承認する作業をマイニングという
- ・マイニングの競争に勝つと報酬としてビットコインがもらえる
- ・新規発行されるビットコインの枚数は四年ごとに半減する

取りあえず、これらビットコインの特徴を覚えておきましょう。

## 3-1 代表的なアルトコインの種類

ビットコイン以外の仮想通貨をアルトコインと言います。

アルトは代替手段という英語の意味です。

ビットコインは、主に送金や決済で使われていますが、代表的なアルトコインであるイーサリアムは、ブロックチェーン上にアプリケーション構築することを目的としています。日本株と同じように仮想通貨は、銘柄によって特徴がバラバラです。

## 3-2 Ethereum (イーサリアム)

イーサリアムは、2013年にヴィタリック・ブテリンによって発案された、スマートコントラクトを搭載したプラットフォームです。

そして、イーサリアムで使われている仮想通貨をイーサと言います

日本では、ETHそのことをイーサリアムと読んでいる人が多いですが正式な名称はイーサになります。

そんなイーサリアムの最大の特徴は、スマートコントラクトを実行できることです。スマートコントラクトを聞くと難しそうに感じますが、予め決めておいた条件が満たされたら自動的に契約内容を実行するプログラムだと思っておい

てください。

例えば、一人暮らしの家を借りたいと思ったら不動産屋さんに入って内見して気に入った物件があれば契約書を書いて、決められた入居日から住めるようになります。しかし、スマートコントラクトを使うと契約書にサインされた2年間の賃貸契約を成立させるというように、不動産屋を介さずに自動で契約ができてしまいます。要するにブロックチェーン上でプログラムを動かせるのがイーサリアムです。プログラミングできるって事は、イーサリアムを使うと X (Twitter) や Facebook のようなアプリケーションを開発できます。

ビットコインは、送金や決済のために作られましたが、イーサリアムは、ブロックチェーン上にアプリケーションを構築することを目的としています。ちなみに、ブロックチェーン上に構築されたアプリケーションのことを DApps (分散型アプリケーション) と言います。

### 3-3 USDT (テザー)

Tether (USDT) は、米ドルにペッグされた仮想通貨です。

厳密には少しずれることもありますが1USDT は1USD とほとんど同じ価値を持ちます。価格の変動が少ないので、儲けるために USDT に投資するのではなく、ビットコインやイーサリアムなどの取引で利益が出た時に、一度利確しておくための交換先として使われることが多いです。

それだけでなく Tether (USDT) を使うと他の取引所に送金して好きな仮想通貨を買ったり、ブロックチェーン上のアプリケーションで資産運用ができたりします。このように幅広い用途があり USDT は、現在3位の時価総額をつけています。

日本の取引所で仮想通貨を買うだけなら USDT に触れることはありません。

海外の取引所を使ったり有名なブロックチェーン上のアプリケーションに触れてみたい時は USDT が必要になります。

ちなみに USDT のように米ドルなどの法定通貨と連動して価格が安定しているコインをステーブルコインと言います。

### 3-4 ソラナ (Solana)

ソラナ (Solana) は、イーサリアムと同じく DApps を構築するためのプラットフォームです。DApps (分散型アプリケーション) とは、ブロックチェーン上に構築されたアプリケーションのことです。

ソラナで使われる仮想通貨を **SOL (ソル)** と言います。

イーサリアムは、2015 年に一般公開されましたがソラナは、その 5 年後である 2020 年にローンチされました。

なぜソラナは、イーサリアムと同じ目的を持ったブロックチェーンを開発したのでしょうか？それはイーサリアムの処理が遅く手数料が高いからです。

例えば、クレジットカードの VISA は一秒間に 4000 から 6000 件の取り引きを処理出来ると言われています。

しかし、イーサリアムは一秒間に 13 から 15 件しか取引処理ができません。

海外送金など緊急でなければ十分かもしれませんが、クレジットカードのようにもっと実用的な場面で使うにはあまりにも遅すぎます。

一方でソラナでは一秒間に 5 万件の取引を処理できると言われています。

またイーサリアムは手数料が高いです。安くても数千円の手数料が発生します。

ソラナでは、平均の手数料が約 0.03 円です。

このような特徴があるのでソラナは高速な処理と良心的な手数料設計を持つブロックチェーンだと言えます。

### 3-5 XRP (リップル)

XRP (リップル) は、現在の金融機関で使われている送金システム「SWIFT」や、ビットコインを含む他のコインと比べて早くて安い国際送金を実現するための仮想通貨です。より正確に言うと、リップルは、異なる国の通貨同士を円



滑に取引するためのブリッジ通貨です。

ブリッジ通貨とは、日本円⇄リップル⇄米ドル のように異なる国の通貨を両替するとき、橋渡しの機能を果たす通貨を指します。

例えば、南アフリカランドからメキシコペソのようにマイナー通貨同士を両替する場合、経由する銀行が増えて多くの手数料が発生します。

また送金間に登場する銀行が増えれば増えるほど人的ミスが増えたり着金が遅れたりします。この時リップルを導入すれば、間に銀行経由する必要がなく高速で手数料の安い送金が実現できます。

このリップルを使った国際送金システムをリップルネットといい、少しずつ導入する金融機関が増えてきています。

### 3-6 仮想通貨は何種類あるの？

日本で購入できる仮想通貨は、およそ 30 種類あります。

それでは仮想通貨全体で見ると何種類くらいあるのでしょうか？

その答えは、本講座を作成している 2023 年 2 月時点で約 2 万種類になります。

実は日本の上場企業より多いんです。

そう考えると、これから仮想通貨投資を始めてもまだまだチャンスがあることがわかりますね。ただし、仮想通貨の中には、中身の伴わない電子ゴミもたくさん存在します。価値のある仮想通貨を見極めるためにも、本講座を含めて、しっかり勉強してから投資するようにしましょう。

### 3-7 第3章のまとめ

この章では、ビットコイン以外の仮想通貨アルトコインを紹介しました。

この他にも良い銘柄プロジェクトはたくさんあります。

本格的に仮想通貨投資をやっていくなら、ぜひ色々とリサーチしてください。

- ・イーサ(ETH)は、イーサリアムというプラットフォームの仮想通貨
- ・イーサリアムを使うとブロックチェーン上でアプリを構築できる
- ・テザー(USDT)はドルにペッグされたステーブルコイン
- ・ソラナ(Solana)は イーサリアムより高速なブロックチェーン
- ・ソラナで使われる仮想通貨をソル(SOL)という

- ・リップル(XRP)は、早くて安い国際送金を実現するための仮想通貨

## 4-1 仮想通貨を買うにはどうすればいいのか？

株や FX であれば、取引を開始するために楽天証券や野村証券などで証券口座を開設します。それと同じで仮想通貨を取引するには、取引所の口座を開設する必要があります。言い回しが違うだけで証券口座と取引所は同じ意味です。だからもしビットコインを購入したいと思ったら、まずは取引所で口座開設する必要があります。

## 4-2 仮想通貨取引所の選び方

取引所を選ぶポイントの1つ目は 取り扱い銘柄 です。

株や FX では、証券口座による取り扱い銘柄に大きな違いがありません。しかし仮想通貨では、取引所によって取り扱っている銘柄が大きく異なってきます。また取引所によって取り扱っている銘柄の数も異なってきます。取引所を選ぶ時は、自分が欲しいと思っている銘柄を取り扱っているのかを確認するようにしましょう。

取引所を選ぶポイント2つ目は、 信頼できる又は資金補填できるかです。仮想通貨の世界では、たとえ取引所であってもハッキングの被害に遭うことがあります。もし取引所がハッキングされると自分が購入した仮想通貨が盗まれてしまいます。できればハッキングされないようにセキュリティが高い取引所を使うと良いですが、私たちに運営の裏側がわかるはずがありません。そこで大事になってくるのが仮想通貨を盗まれた時に補填できるだけの資金を持っている取引所を選ぶことです。

具体的には、上場企業が運営しているか昔から存在する有名な取引所を選ぶことにしましょう。

最後に、取引所を選ぶポイントの3つ目は、取引が活発又はユーザーが多い ことです。あなたがビットコインを買いたいと思った時その裏には必ず売っている人がいます。

ということは、売買が活発に行われていない取引所を選ぶと、いくらビットコインを買いたいと思っても購入できません。

もし購入できたとしてもかなり割高で買うことになります。

なので、できるだけユーザーの多い取引所を選ぶことにしましょう。  
ユーザーが多く売買が活発に行われている取引所は、手数料で儲かるので、ハッキングされた時、自分の資産を補填してもらえやすい可能性が高いです。

### 4-3 ビットコインの購入方法

ここではビットコインを購入するまでの手順を紹介していきます。

#### 手順①: 本人確認書類などの必要書類を準備する

まずは取引所の口座開設で必要になる以下いずれかの本人確認書類を準備します。

- ・運転免許証
- ・個人番号カード
- ・パスポート
- ・在留カード

免許証やパスポートがあれば十分です。

もし持っていないければ、この機会にマイナンバーカードを発行するといいです。

#### 手順②: 取引所の口座開設をする

本人確認書類を手元に準備したら取引所の口座開設を進めましょう。

全ての取引所では、個人情報の入力と本人確認書類のアップだけで口座開設が完了します。メルカリやぐるなびでアカウントを作成できる人なら、何も難しいことはありません。

#### 手順③: 銀行口座から取引所に日本円を入金する

取引所の口座を開いたらビットコインを買うために日本円を入金しましょう。

これは使用する取引所やお手持ちの銀行口座によって操作が異なってきますが、特に難しいことはありません。

#### 手順④: 日本円でビットコインを購入する

後は入金した日本円でビットコインを購入するだけです。

### 4-4 取引の際に初心者が気を付けるべきこと

ビットコインの購入自体はとても簡単です

しかし、初めて仮想通貨取引をする時に気をつけておくべき点が、三つあります。ビットコインの買い方より 10 倍は大事な内容なのでしっかりと押さえておきましょう。

**1つ目**は、まずは少額で投資してみる ことです。

初めて仮想通貨取引するなら、まずは少額で始めましょう。

ビットコインを含む仮想通貨は、株とは違って小数点単位でも購入できます。本レポートを作成している 2023 年 12 月時点で 1BTC は約 600 万円ですが、0.001 BTC だけ購入すれば 6,000 円から投資できてしまいます。だから、いきなりまとまった金額を準備する必要がありません。

## 4-5 販売所ではなく取引所を使う

注意すべきことの**2つ目**は、販売所ではなく取引所を使う ことです。

仮想通貨の購入で使う取引所には、**取引所**と**販売所**があります。

取引所は、株や FX と同じようにユーザー同士で仮想通貨を取引する方法です。

一方の販売所は、コインチェックや bitFlyer などの取引所から仮想通貨を購入する方法になります。

- ・ **取引所**： **ユーザー同士で取引する方法**
- ・ **販売所**： **仮想通貨取引所から購入する方法**

取引所は、野菜の直売店のようなイメージです。農家さんと直接やり取りするから他で買うよりも安く野菜が手に入ります。

一方の販売所は、言うなればスーパーです。私たちは、スーパーが仕入れた野菜を買うので、農家さんと直接取引するより高くなります。

だから特別な理由がない限り仮想通貨を買う時は取引所を使うようにしましょう。どちらで買った同じビットコインが手に入るの、わざわざ手数料の高い販売所を選ぶ必要はありません。

ただし銘柄によっては、販売所でしか取り扱っていないケースもあります。

だから日本の取引所だけ使って行くなら、原則は取引所を利用するようにしましょう。購入したいコインを扱っていない時だけ、販売所を使うようにします。

## 4-6 レバレッジ取引ではなく現物取引にする

注意すべきことの**3つ目**は、レバレッジ取引ではなく現物取引にすることです。仮想通貨はFXと同じでレバレッジ取引が可能です。しかし、投資初心者ならまずは現物取引から始めましょう。

レバレッジを使うと資金効率よくお金を増やせますが、リスクを上げているので価格が下落したときの損失もものすごく大きくなります。

投資を始めたばかりだと損をしてるという状態が精神的にきついです。

仮想通貨市場は、構造的に成長しています。トレードしなくても資産は増えるので現物を買って放置しておきましょう。

## 4-7 スマホ1つで取引できるのか？

仮想通貨取引所では、スマホアプリを準備してくれます。

だからやろうと思えば、スマホひとつで仮想通貨を取引できます。

しかし可能であればパソコンで取引するのをお勧めします。

今は、ビットコインやイーサリアムしか購入しないかもしれませんが他の仮想通貨を買いたいと思ったら投資対象のリサーチが必要になります。

もちろんスマホでも取り調べはできますが、パソコンを使った検索と比べると効率が悪いです。

また慣れてくるとアドレスを使って仮想通貨を送金する機会が増えてきます。

郵便物は、住所を間違えても戻ってきますが、仮想通貨は宛先のアドレスを間違えると取り返しがつきません。

スマホだとアドレスのコピーやダブルチェックが難しいので普段からパソコンで操作をする癖をつけておきましょう。

## 4-8 この章のまとめ

第4章では、仮想通貨の買い方だけでなく、購入時の注意点もあわせて紹介しました。特に重要なのが仮想通貨を買う時に販売所ではなく取引所を使うことです。どちらで買っても同じ仮想通貨を入手できるので手数料が安い取引所を

使うようにしてください。

#### 第四章まとめ

- ・ 仮想通貨を購入するには、取引所で口座開設する必要がある
- ・ 初めは上場企業や昔から存在する企業が運営する取引所を使う
- ・ まずは少額で無理のない投資を試してみる
- ・ 仮想通貨を買う時は販売所ではなく取引所を使う
- ・ 初心者のうちはレバレッジを使わず現物で取引する

### 5-1 どんな戦略で投資すれば良いのか？

仮想通貨の基礎や始め方もわかったの後は投資家デビューするだけです。

しかし、投資を始める前に、決めておいて欲しいことがあります。

それは仮想通貨の投資戦略です。

戦略を決めておくことで、ただのギャンブルではなくしっかり資産を増やせる投資になります。

というわけでこの章では仮想通貨投資における原則やおすすめの投資手法を紹介していきます。

### 5-2 仮想通貨投資における 3つの原則

これから仮想通貨投資を始めるにあたって以下の三つを抑えるようにしてください。

- 1. これを買えば絶対儲かるはない**
- 2. 徹底的に情報収集して自己責任で投資する**
- 3. 値動きを気にしないくらいの余剰資金で投資する**

この3点になります。

まず、1つ目「これを買えば絶対に儲かる」はないです。

YouTube を見ているとこの銘柄があつとか、このコインは10倍になるといった動画が多く存在しますがこれを買えば絶対に儲かるはありません。

もちろん10倍、20倍、100倍になる銘柄自体は存在しますが、それを当てるには、入念なりサーチが必要になります。

2つ目、徹底的に情報 収集して自己責任で投資する です。どうやって投資する銘柄を選べば良いのかというとそれは徹底的に情報収集するしかありません。

- ・ **どんなプロジェクトなのか**
- ・ **そもそもプロジェクトは動いているのか**
- ・ **仮想通貨は何に使われるのか**

これらの情報を徹底的にリサーチする必要があります。これから仮想通貨投資を始めるあなたは自分で情報収集して購入するコインを選んでください。

最後に3つ目、値動きを気にしないくらいの余剰資金で投資する ことです。仮想通貨を購入するなら、溶けても良いと思える金額だけ投資しましょう。なぜかと言うと自分の投資した仮想通貨の値動きを、気にしないためです。あまり大きな資金を投資してしまうと今の価格が気になって 1 日何度もチャートを確認することになります。

しかし、あなたがチャートを確認したところで仮想通貨の価格は全く上がりません。値動きの確認に時間を使うくらいなら本業や 副業を頑張って、そこで得た資金を投資した方が遥かに有益です。

だから値動きを気にならないくらい少額で最悪なくなってもいいと思える金額だけ投資しましょう。

### **5-3 仮想通貨の購入で決める 3 つのこと**

仮想通貨に投資している日本人はまだ少ないです。

それは、リスクが高いし怖いからだけでなく、なんとなく難しそうだからという理由もあります。しかし、実際仮想通貨に投資することは、非常にシンプルです。仮想通貨の購入で決める 3 つのことは以下の3つです。

- 1. 何を買うのか？**
- 2. いつ買うのか？**
- 3. いくらだけ買うのか？**

この3つです。

1. 何を買うのかは、  
先ほどもお伝えした通り原則は、自分で調べる必要があります。

2. いくらだけ買うのかは、  
毎月の収支に合わせて無理のない投資金額を決めることになります。  
では、2. いつ買うのかは、どうやって決めれば良いのでしょうか？  
結論は、安くなった時に買うのが良いですが、ベストな購入タイミングを当てるのはほぼ不可能です。  
それでは、どうすればいいのでしょうか？  
この事については、次の講義で説明します。

## 5-4 仮想通貨でおすすめの投資方法

オススメなのが、定期定額で安全なコインに積み立てる投資方法です。  
なぜこの投資方法が良いのか紹介していきます。

まず決められた日が良い理由は、よくなるタイミングを監視し続けなくても良いからです。チャートを分析することで安くなると予測はできますが、本当に価格が下がるかは誰もわかりません。だから、はじめから購入する日を決めてしまします。

とはいえ設定した購入日によっては、投資しているコインが値上がりしているかもしれません。そこで購入するタイミングだけでなく金額も一定にします。

そうすることで、  
価格が高騰している時は、購入する枚数を抑えて、暴落してる時は、大量に買えるチャンスになります。

いわゆる**ドルコスト**平均法です。

今の仮想通貨市場は、構造的に成長しているので、定期定額の投資を続ければそれだけ恩恵を享受できます。

例えば、毎月の給料日に 1 万円の定額投資なら無理せずコツコツ継続できるは



ずです。先に投資へ回してしまえば、残りの貯金で生活しようとなるので無駄な出費を抑えて節約する効果もあります。

次に、安全なコインへの投資をおすすめする理由は、日本人にとって有利な戦い方ができるからです。

日本では、仮想通貨で得た利益が 20 万円を超えると最大で 55%の税金がかかります。もし仮想通貨投資で 1 億円の利益が出たとしても手元に残るのは 4,500 万円です。この厳しい税制のせいで、最近では海外に移住する投資家が増えてきています。でもいずれは株や FX と同じように、分離課税の税率約 20%になることが予測されています。

だから海外に出る予定がないのであれば今取れる最善の投資戦略は税率が 20%になるまで一枚も売らずにホールドし続けることです。

となるとホールドし続けても問題がないような安全なコインを選ぶ必要が出てきます。

どのコインが安全かは人によって判断が異なるので断定できませんが、ビットコインやイーサリアムは不動のトップ 2 なので比較的安心してできるではないでしょうか。

## 5-5 この章のまとめ

第 5 章では、仮想通貨投資に取り組む上での原則やオススメの投資方法を紹介しました。初心者でも固く資産を作っていくなら長期分散積立で、安全なコインに投資していきましょう。もちろん無理のない余剰資金でという前提つきです。

### 第 5 章まとめ

- ・ これを買えば絶対に儲かるという仮想通貨は存在しない
- ・ 徹底的に情報収集して自己責任で投資する
- ・ 値動きを気にしないくらいの余剰資金で投資する
- ・ おすすめの投資法は定期定額で安全なコインの積立です。

## 6-1 盗難時に資金補填できる取引所を使う

最後に、仮想通貨投資する上での注意点を紹介していきます。

これまでの内容を重複する部分もありますが、復習の意味も含めて読み進めてもらえると嬉しいです。

注意点の1つ目は、

「**盗難時に資金補填できる取引所を使う**」ことです。

仮想通貨ではハッキングが日常茶飯時です。

企業が運営する取引所と言え、仮想通貨を盗まれる可能性は十分にあります。だからこそ、もしハッキングされた時に自分が投資した金額を補填できる取引所を選びましょう。

またコインチェックではビットコインを買って、ビットフライヤーではイーサリアムを購入するなど複数の取引所を使い分けておくとハッキングの被害が最小限に抑えられます。

## 6-2 セキュリティ対策をしっかりと行う

注意点の2つ目は、「**セキュリティ対策をしっかりと行う**」ことです。

仮想通貨に限りませんが、会員登録のパスワードは使い回さず複雑なものにしましょう。単純な英数字ではなく 記号を含む長いパスワードにするのがおすすめです。

また仮想通貨取引所では、二段階認証を設定できるようにします。

二段階認証は、強力なセキュリティー対策になるので必ず設定するようにしてください。

## 6-3 価格変動（ボラティリティ）

3つ目は、「**価格変動（ボラティリティ）**」についてです。

株や FX と違って仮想通貨は1日で10から20%の下落が日常茶飯時です。だからレバレッジを使って取引すると一瞬でお金が溶ける可能性があります。

捉え方を変えると1日で10~20%の上昇も当たり前の世界なので、現物でも十分に利益が出せます。まずはレバレッジを使わずに現物で取引するようにしましょう。

## 6-4 税金

現在2023年12月時点の税制ですと、仮想通貨で得た利益が20万円以上ですと確定申告して納税する義務が発生します。このとき厄介なのが利益には、仮想通貨同士の交換も含まれるということです。

例えば100万円のビットコインを買って200万円になったとします。

この段階で含み益は100万円です

しかしビットコインを利確して出金せずに、さらに伸びそうなイーサリアムに交換したとします。

ビットコインをイーサリアムに変えただけなら、特に税金を考慮する必要がないと思われるかもしれませんが、現在の日本の税制では仮想通貨同士の交換取引でも利確と判断されます。

このようにルールを知っておかないと後で痛い目にあうことになります。

こうやって聞くとそんな複雑なら仮想通貨投資はやめておこうなと思うかもしれませんが、皆同じことを考えているからこそ今始めることの優位性があります。

しっかり勉強すればちゃんとリスクはヘッジできます。

ぜひこの講座を受講していただいて少しでもいいから仮想通貨を持つという経験をして欲しいと思っています

## 6-5 この章のまとめ

第6章では、仮想通貨投資する上での注意点を紹介しました。

特に大事なのが余剰資金で投資することです。

X(Twitter)では 仮想通貨で儲けている人がたくさんいます。

しかし、それを見て自分も儲けたいと焦って無理な投資をしても大体うまくいきません。

自分は自分、他人は他人です。

焦らずコツコツ無理なく投資していきましょう

## 第6章まとめ

- ・盗難された時に資金補填できそうな取引所を使う
- ・複雑なパスワードや二段階認証を設定してセキュリティ対策を行う
- ・仮想通貨は価格変動が大きいので余剰資金で投資する
- ・銘柄だけでなく法律や規制の変更にも注意する
- ・日本では仮想通貨同士の交換も利確とみなされる

## 7-1 おわりに

最後まで本レポートをお読みいただき誠にありがとうございました。

本レポートは、完全初心者でもほぼ失敗せずに仮想通貨投資を始めるための基礎知識を紹介しました。

後は取引所の口座を開設して日本円を入金し仮想通貨を買ってみるだけです。

本講座を作成している 2023 年 12 月時点では、1 ドル=約 142 円です。

円安になっても給料が上がれば問題ないですが、日本は直近の 30 年間で賃金がほとんど上がっていません。

税金や社会保障費は増え続けているのに、将来の年金はもらえるかわかりません。そんな状況なので、すべての日本人にとって投資は必須だと言えます。

特に仮想通貨市場は、世界中のベンチャーキャピタルが 何百億単位で投資していて続々とお金が集まっています。

だからこそ、仮想通貨を始めるなら今がチャンスです。

しかしこのように説明したとしても本講座を受講していただいた 100 人中おそらく一人ぐらいしか実行に移さないと 생각합니다。

あなたには是非その一人になっていただきたいです。

国とか 会社に頼るのではなく自分で将来のための資産を形成していきましょう

う。

それでは、今回は以上となります。

ありがとうございました。

—

## ■ 発行者情報

発行者：杉浦和久

連絡先：crypto@dotcomexpertsecrets.com

ブログ：<https://dotcomexpertsecrets.com/>

## ■ おすすめ教材

商品名：4年に1度しか訪れない仮想通貨投資の一大イベントが来年2024年4月に訪れるのをあなたは知っていますか？

⇒ [コチラから](#)

1. 今さら聞けない、仮想通貨（暗号資産）ビットコインの基礎の基礎

⇒ [コチラから](#)

2. 仮想通貨（暗号資産）ビットコインの超基本を学ぶ

⇒ [コチラから](#)

3. 仮想通貨（暗号資産）ビットコインの全ての基礎がわかる

⇒ [コチラから](#)

4. 草コインからビットコインに次ぐ将来有望な銘柄の探し方

⇒ [コチラから](#)

5. 日本人の99%が全くわかっていない仮想通貨の超ポテンシャル

⇒ [コチラから](#)

6. 仮想通貨投資を元手に資産形成をし老後を自由気ままに過ごす戦略

⇒ [コチラから](#)

7. 失敗しない国内仮想通貨取引所を選ぶために注目すべき4条件

⇒ [コチラから](#)

8. 失敗しない海外仮想通貨取引所を選ぶために注目すべき条件

⇒ [コチラから](#)

9. メタマスク (MetaMask) 完全操作マニュアル

⇒ [コチラから](#)

10. NFT(ブロックチェーン)ゲームを無課金で遊べるおすすめ9選

⇒ [コチラから](#)

11. 2024年4月の4度目のビットコイン半減期を大予測

⇒ [コチラから](#)

12. 年利8%以上で運用ができる仮想通貨ステーキング【超入門】

⇒ [コチラから](#)

13. 意外と知られていない超高いコスパの仮想通貨積立とは？

⇒ [コチラから](#)

14. 1億倍を達成した第2のビットコインを探し出すアルトコイン戦略

⇒ [コチラから](#)

15. 草コインを当中させ億り人になるアルトコイン完全攻略マニュアル

⇒ [コチラから](#)

16. 2024年5月からビットコイン仮想通貨のバブル相場が始まる！  
⇒ [コチラから](#)
17. 仮想通貨積立 x ステージングを同時実現させるハイブリッド投資  
⇒ [コチラから](#)
18. 通勤時のすき間時間にポイ活して毎月1万円のご小遣いを貯める  
⇒ [コチラから](#)
19. リスクゼロで3万円の軍資金を準備する【自己アフィリエイト】  
⇒ [コチラから](#)